

## 第30回横浜食肉市場ミートフェアで県内生産者が躍進

平成30年4月13日（金）、第30回横浜食肉市場ミートフェアが開催されました。このイベントは、毎年横浜食肉市場で開催されている牛枝肉のコンテストで、全国の肉牛生産者から出荷された牛枝肉の品質を競うものです。

出品区分は交雑種の部、黒毛和種の部のふたつあり、本年度の出品頭数は第1部・交雑種25頭（去勢12頭、雌13頭）、第2部・黒毛和種72頭（去勢56頭、雌16頭）で合計97頭となりました。

コンテストの審査は、枝肉を定められた位置で切開し、その断面で赤肉（ロースやバラ）の肉量や霜降りの度合い、脂肪の質などで競います。当日出品された枝肉は、いずれも高品質で甲乙つけがたく審査は難航しましたが、最終的には交雑種上位4点、黒毛和種12点を入賞としました。神奈川県内からは、交雑種4頭、黒毛和種7頭が出品され交雑種の部の最優秀賞や黒毛和種の部の名誉賞・優等賞を獲得するなど、大きく躍進しました。

現在は肥育素牛の価格や飼料価格が高止まっており、肉牛肥育経営は依然苦しい状況が続いていますが、当所では県内の肉牛生産者の方々が安心して経営を継続していけるよう、当日の審査業務や日頃の飼養管理技術向上の支援に取り組んでいます。



写真：表彰を受ける神奈川県内の生産者

### 備考

枝肉審査は、(社)日本食肉格付協会が定める牛枝肉取引規格に基づいて実施しています。当所は審査業務を中心に支援しています。